資料１
第８回策定検討部会
2020.12.02

次期都市計画マスタープランの構成（案）

序章

１ 都市計画マスタープランとは
(1)位置づけ
(2)計画対象区域と目標年次

２ 改定の背景
(1)上位計画の改定
(2)都市づくりをめぐる新たな潮流
(3)生駒における都市づくりの進展
(4)市民ニーズの変化

３ 都市づくりの基本姿勢
●将来の目標像の設定と実現に向けた計画的な取組みの推進
●都市における多様な活動の活性化と状況に応じた小さな取組みの推進

４ 都市計画マスタープランの役割
（役割）
●これからの都市づくりの方向性（ビジョン）を共有する
●市民や事業者による取組みをガイドする
●都市づくりに関わる行政施策の根拠とする
（備えるべき要素）
●都市づくりの目標と戦略的な都市づくりの方針
●地域特性に応じたきめ細やかな都市づくりの枠組み
●多様化する課題に対応するための多分野の施策連携の考え方

別冊資料集
●根拠データ

第１章 これからの生駒の都市づくり

１ 将来都市像
＜自分らしく輝けるステージ生駒＞

２ 都市づくりにおける未来の暮らしのイメージ
●都市での多様な暮らし
・安全・安心・健康な暮らし
・ライフステージや価値観に応じた住まい方
・生活に彩りのある質の高い暮らし
●人々の豊かなつながり
・対話や活動が活発に生まれる地縁型のつながり
・共通の目的を持ったテーマ型のつながり
・場の共有による緩やかなつながり

３ 都市づくりの課題
●安全で安心して健やかに暮らせる都市
●こどもを育み、市民と共に成長し成熟していく都市
●これからの生駒の活力を創造する都市
●新たな住まい方・暮らし方を支え、活力とする都市
●「住みたい」「快適に豊かに住み続けたい」の思いが叶う都市
●歴史文化、田園・自然環境を活用・継承する都市
●効率的で持続可能な都市経営の実現

第２章 都市づくりの目標と戦略

１ 都市づくりの目標
住まい方・暮らし方を選択できるまち

２ 都市空間像
●市街地環境の維持と土地利用の増進
●拠点の形成と連携・アクセスの充実
●地域類型ごとの特性を生かした地域づくり
●誰もが生活しやすい圏域の形成
●空間資源を活用した活動を育む場の創出

３ 都市づくりの戦略
豊かな活動を育む空間資源の再編

４ 未来の生駒をつくる戦略ストーリー
① 都市拠点・地域拠点の戦略ストーリー
・利便性の高いまちなか居住の実現
・持続的な成長・活力あふれる拠点への再編
② 計画的市街地の戦略ストーリー
・“住む”だけでない新たな価値を創出する“住まい”
・暮らし続けられる循環型住宅地づくり
③ 田園集落地の戦略ストーリー
・自然・文化資源を活かした新たな住まい・生業の定着
・ゆとりある暮らしの継承と持続可能なコミュニティづくり
④ 産業・学術研究拠点の戦略ストーリー
・暮らしと研究が一体となった居住モデルの創出
・新たな機能導入によるイノベーションの創出

第３章 都市づくりの方針

１ 土地利用の方針
【市街地ゾーン】
●商業・業務エリア
●戸建て住宅地エリア
●複合市街地エリア
●産業エリア
【田園ゾーン】
●田園集落エリア
【緑地ゾーン】
●山林・緑地エリア

２ 分野別都市づくりの方針
（1）多分野連携の考え方
（2）分野別の都市づくり方針
-1 災害に強い都市（防災）
-2 安心して豊かに暮らすことができる都市（生活像）
-3 持続的な成長を生む都市（産業）
-4 誰もが移動しやすいコンパクトな都市（交通）
-5 豊かで多様な自然と共生する景観都市（自然的環境）

第４章 圏域別の都市づくりの方針

１ 圏域別都市づくりについて

２ 各圏域の特性と方針
2-1 学研奈良登美ヶ丘駅圏域
2-2 学研北生駒駅圏域
2-3 白庭台駅圏域
・（０）歴史・なりたち
・（１）特徴
・（２）都市機能・土地利用の状況
（３）資源
（４）圏域別の方針

第５章 地域まちづくりの方針

１ 地域まちづくりの方針
（１）地域まちづくりの基本的な考え方

２ 地域まちづくりの進め方

３ 地域まちづくりの計画への反映
（１） 計画への反映方法
（２） 地域の魅力発信による目標の実現

第６章 計画の推進と見直しの方針

１ 計画の推進方針
（１）推進の基本的な考え方
（２）都市づくりの主体と役割

２ 評価と見直し方針
（１）都市計画マスタープランの進行管理
（２）成果の評価を踏まえた計画の見直し